

件名	平成23年東北地方太平洋沖地震に対する四国地方整備局の災害対応状況について
----	---------------------------------------

取り扱い	発表をもって解禁
発表先	高松サポート合同庁舎記者クラブ (高松経済記者クラブ)

発表概要	<p>四国地方整備局では、平成23年3月11日14時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震による被害に対し、総合対策本部を設置し、被災地への支援、各種影響に関する情報の収集・分析を行っております。本日の災害対応の状況等をお知らせします。</p> <p>1) 新たな TEC-FORCE の派遣 東北 TEC-FORCE 総合司令部要員および河川関係被害のとりまとめ分析実施のため四国地方整備局職員3名を派遣しました。</p> <p>2) 現地の活動状況について 四国地方整備局より派遣した TEC-FORCE の活動状況をお知らせします。</p>
------	---

※ 本資料は、以下URLでも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/sikoku/sokuhou/sokuhou.html>

問い合わせ先	四国地方整備局 企画課長 井上 清敬 TEL 087-811-8488 (本部直通) FAX 087-811-8410 (本部直通)
--------	--

平成23年東北地方太平洋沖地震に対する四国地方整備局の 災害対応状況（平成23年3月24日現在）

【I. 被災地への支援】

1) 総合対策本部の設置

四国地方整備局では、3月11日（金）に支援対策本部を設置し、被災地域への支援を行っておりましたが、今回の地震による甚大な被害及びこれに伴う社会的な影響に鑑み総合的な対策を行うために、3月14日（月）10:00から支援対策本部を総合対策本部に移行して対応しています。

2) 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣

第一陣＝河川班、道路班、電気班、機械班、港湾空港班、ロジ班合計27名を派遣
3月12日（土）出発し、3月19日（土）に帰還

第二陣＝機械班4名を派遣
3月17日（木）出発

第三陣＝電気班2名を派遣
3月20日（日）出発

東北TEC-FORCE総合司令部要員1名を派遣
3月19日（土）出発

第四陣＝宮城県名取市及び亘理町の支援のため10名派遣
3月22日（火）出発

第五陣＝機械班4名（交代要員）を派遣
3月22日（火）出発

東北TEC-FORCE総合司令部要員2名及び河川関係被害のとりまとめ分析実施のため1名の合計3名を派遣 3月24日（木）出発

◆これまでのTEC-FORCE全体派遣数

四国地整から51人、延べ279人・日派遣

全国の地方整備局等から、238人が活動中（3月21日時点）

延べ3,618人が活動（3月23日時点）

<主な活動内容>

◇河川班＝宮城県・江合川堤防の亀裂・陥没等の現地調査を実施。（延長約40km）

◇道路班＝東北道・八戸IC～八戸市役所～八戸港および国道45号の橋梁・路面等の損壊状況調査を実施。

◇電気班＝被災市町村等と連絡のための衛星通信機器の運転調整。旧北上川河口部・門脇水位観測所の現地調査、北上川河口光ケーブル・鳴瀬川河口光ケーブル調査を実施。石巻市においてk u - s a t 設営、北上川電気通信施設の調査を実施。

◇機械班＝福島県新地町等において、自衛隊等の夜間救出作業支援のため照明車等を派遣。仙台空港周辺にて排水作業を実施。

◇港湾空港班＝久慈港の港湾施設の損壊状況調査を実施。

◇東北TEC-FORCE総合司令部＝東北地方整備局に新たに設置された東北TEC-FORCE総合司令部においてTEC-FORCEの派遣調整を実施

<TEC-FORCEの活動状況／東北地整HPへリンク>

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/K00360/taiheiyouokijishinn/tecforce/index.htm>

3) 災害対策用機械、操作員・運転手の派遣

四国地整から照明車5台、排水ポンプ車5台、対策本部車1台、待機支援車2台、合計13台を東北地整管内に派遣中。操作員・運転手として協力建設業者から延べ85人（第1陣37名、第2陣34名、第3陣14名）派遣。

全国の地方整備局から災害対応車両247台を派遣（3月22日時点）

<主な活動内容>

- ・自衛隊等の作業用として照明車を設置。
- ・石巻市の北上中学校（避難所）に待機支援車を設置し、避難施設の一部として活用。
- ・排水ポンプ車を設置（宮城県名取市2箇所、岩沼市3箇所）し、宮城県内の津波による浸水区域の排除作業に従事。同時に照明車を派遣し、排水作業を支援。
- ・対策本部車、待機支援車を押分排水機場に設置し、現地活動拠点として活用。

4) 災害対策用ヘリの派遣

<主な活動内容>

3月11日（金）16時に高松空港出発。

13日（日）調査開始。福島県全域の被害実態調査実施。

14日（月）福島県、宮城県被害実態調査を実施。

16日（水）静岡県東部で発生した地震の実態調査を実施。

23日（水）高松空港帰着。

5) リエゾンの派遣

西日本ブロックの地方整備局が連携し、3月14日から国土交通本省防災センター内にリエゾンセンターを設置。四国地方整備局からは、2人派遣し、本省との連絡調整を密にし素早い対応を行うことができる体制を整えています。

【Ⅱ. 四国における各種影響に関する情報の収集・分析】

1) 学識経験者による津波対策等への提言

①東北地方太平洋沖地震アドバイザー会議

被災地に対する支援のあり方や、今回の災害を踏まえ、東南海・南海地震対策の強化すべき点等について、四国内の大学の研究者から助言をいただく場として、3月14日（月）に「東北地方太平洋沖地震アドバイザー会議」を開催し意見交換。

②四国建設業BCP有識者会議

四国地方整備局では、今回の東北地方太平洋沖地震の発生をうけ、有識者の皆さんとの意見交換を通じて、今後発生が想定される東南海・南海地震等の地震津波対策に活用していくため、3月23日開催の「四国建設業BCP等審査会」のあと、「四国建設業BCP有識者会議～東北地方太平洋沖地震の発生をうけて～」を緊急開催しました。なお、本会議の構成メンバーは「四国における地震・津波対策アドバイザー会議」と一部重複しています。

2) 国の出先機関等による情報共有

四国にある国の出先機関等の対応状況や四国への影響等について情報共有を図ることを目的として、各機関の長による緊急会議を3月17日（木）に開催し、意見交換。

<参加機関>

四国管区警察局、四国総合通信局、四国財務局、四国厚生支局、中国四国農政局、四国森林管理局、四国経済産業局、中国四国産業保安監督部四国支部、四

国地方整備局、四国運輸局、四国地方測量部、高松地方気象台、高松海上保安本部、中国四国環境事務所高松事務所、西日本高速道路(株)四国支社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、西日本電信電話(株)四国事業本部、(株)NTTdocomo四国支社

【Ⅲ. 建設業界等関係団体との連絡調整】

被災地域の復旧作業支援に向けて、派遣可能な建設機械や操作員、建設資材などを把握するための調査を四国管内4県の建設業協会に依頼し、回答を得ている。

【Ⅳ. その他】

1) 所管施設における節電の推進

電力不足に対する政府の方針を受け、四国地方整備局が所管している庁舎、河川、道路、公園等の施設において、利用者等に対する安全確保に留意しつつ、節電に努めています。

【3月24日の被災地域での活動内容】

(機械班)

- ・排水ポンプ車5台、照明車5台は宮城県名取市の名取川河口右岸1カ所、名取市小塚原1カ所、岩沼市の五間堀川1カ所および阿武隈川河口左岸2カ所の5箇所で排水作業を実施。詳細な、位置及び活動写真は次ページ以降(別紙-1)に掲載。
- ・待機支援車1台は、引き続き石巻市の北上中学校(避難所)で避難施設の一部として活用。
- ・対策本部車1台、待機支援車1台を、押分排水機場で現地活動拠点として活用。

(電気班)

- ・石巻市においてk u - s a t 設営、北上川電気通信施設の調査を実施。

(東北TEC-FORCE総合司令部要員)

- ・東北地整において、現地調査、情報連絡、調整業務に従事。

(市町村支援隊(巨理町班))

- ・巨理町役場に到着し、東北TEC-FORCE総合司令部との連絡調整に従事。
- ・阿武隈川河口部現地調査を実施。

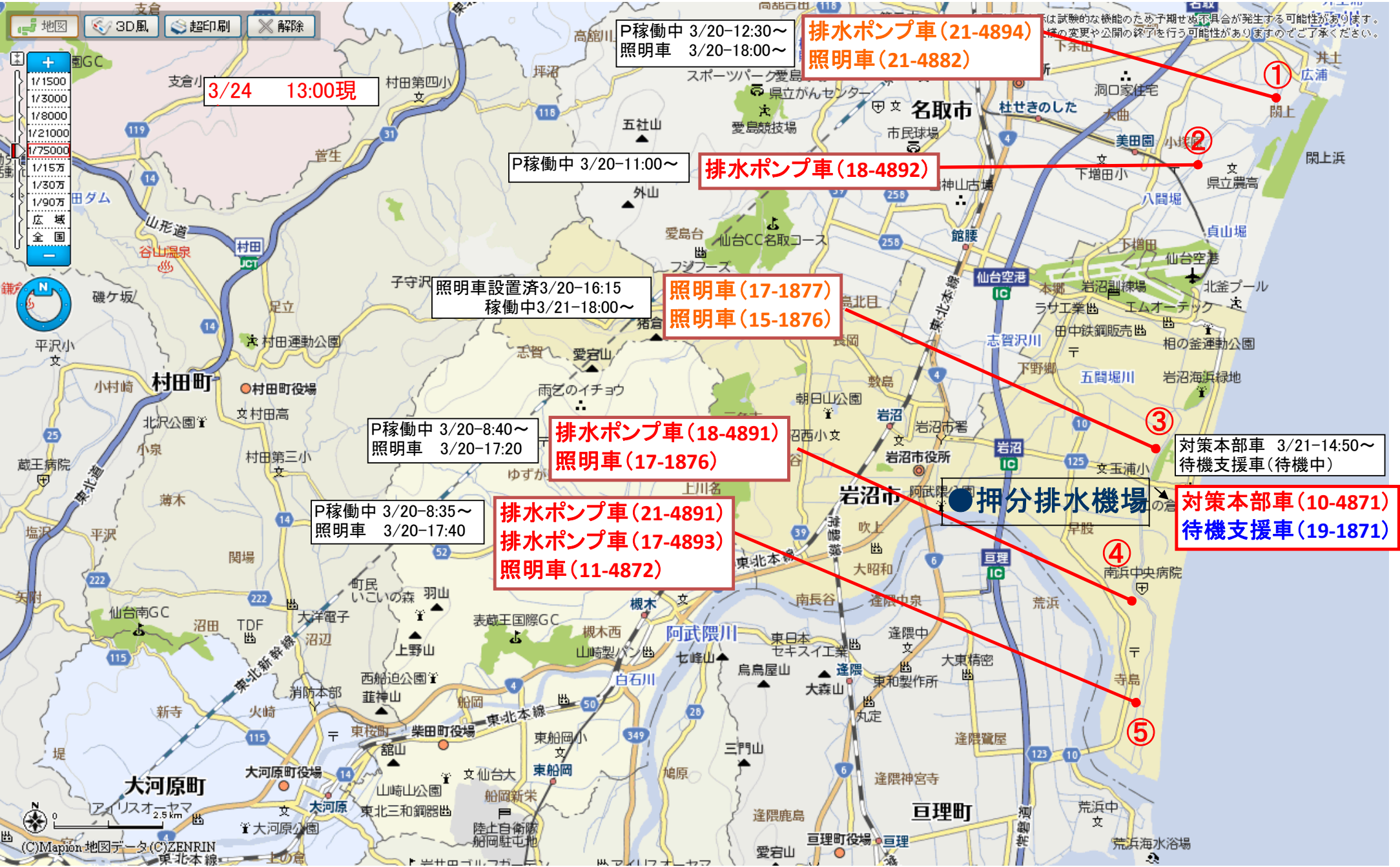
(市町村支援隊(名取市班))

- ・名取市に到着し、東北TEC-FORCE総合司令部との連絡調整に従事。

※本情報は速報であり、その後、変更の可能性があります。

※(下線部)は、前報から変更のあった情報です。

災害対策機械の活動状況(3月24日13:00現在)



これは試験的な機能のため予期せぬ不具合が発生する可能性があります。仕様の変更や公開の終了を行う可能性がありますのでご了承ください。

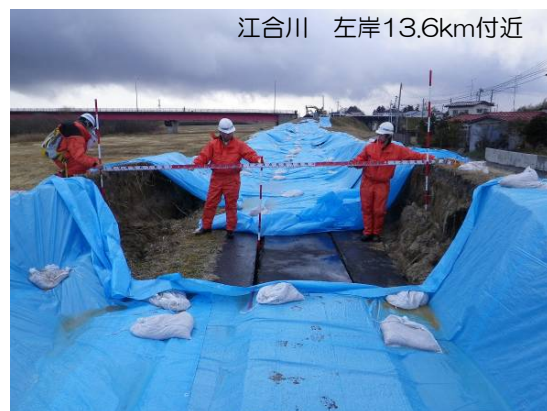
四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（河川・砂防班）第1陣の活動状況（H23.3.12～3.19）

- 派遣人員：河川班（3名×2班=6名）（福島補佐、西山課長、松山係長、長尾係長、矢野係長、南本係長）
砂防班（3名×1班=3名）（福岡課長、藤本係長、藤坂係長）

合計 3班、9名

- 調査場所：旧北上川の右支川江合川 約20km（9.4k～30.7k）【宮城県遠田郡涌谷町、美里町、大崎市】
- 調査概要：
 - 河川堤防の沈下、はらみ出し、クラック、液状化等の発生状況や被災範囲、河川構造物（水門、樋門、樋管等）の損傷状況を調査。
 - 河川堤防は、大規模に変形（上面の沈下（最大約1.5m）、斜面のはらみ出し等）し、広範囲にわたるクラック（上下流方向）が発生。液状化現象による噴砂も確認。河川構造物は、大規模な損傷は確認されなかったが、コンクリートのはく離や周辺地盤の沈下が発生。



堤防の沈下が発生



堤防の沈下、護岸の損傷が発生



樋門門柱のコンクリートのはく離



雪の中での調査（堤防の沈下）



堤防にクラックが発生



液状化現象による噴砂の状況

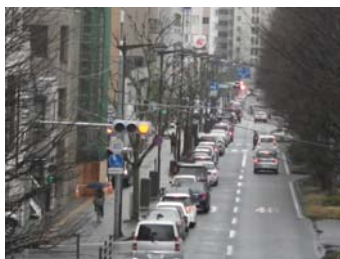
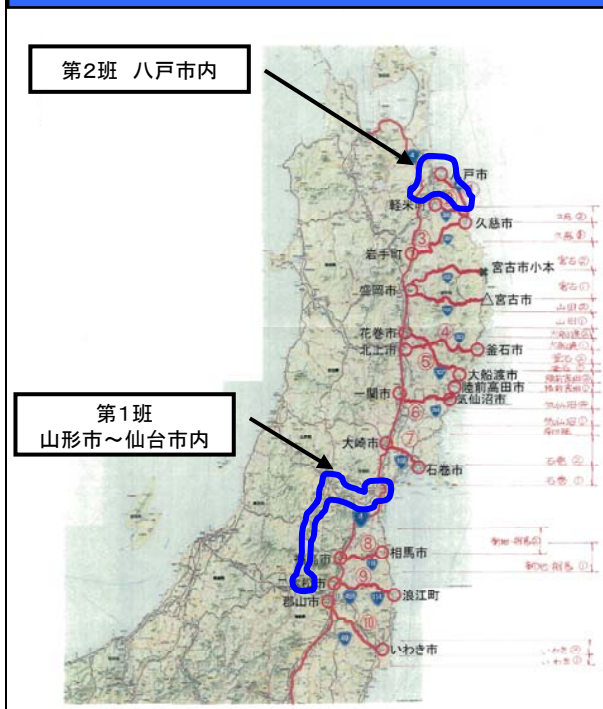
四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（道路班）第1陣の活動状況（H23.3.12～3.17）

道路班：本局〔助田補佐、庄野補佐、南都係長、雑賀係長、金倉係長〕
香川〔鈴木対策官、金滝課長、黒口課長、菅係長〕 以上9名

第1班：山形市～仙台市の道路と仙台市内の被災状況を調査

調査内容と調査地域



給油待ちの車列



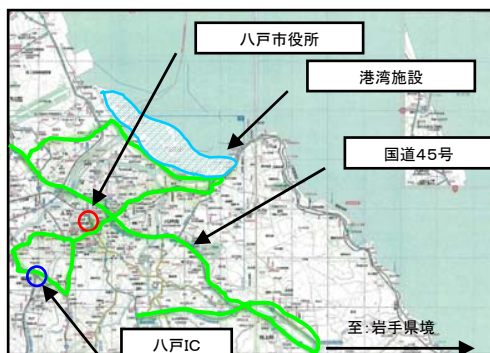
スーパー開店待ちの行列



路面陥没状況

第2班：青森県八戸市内で調査を実施

- ①東北道の八戸ICから八戸市役所まで・港湾施設までの大型車が通行可能であるか確認（左下図の緑の路線）、②同じく国道45号の岩手県境までの道路状況を確認、③八戸港周辺の被災状況を調査
- ①・②：大型車まで通行できることを確認



八戸市内の調査区域図



③八戸港周辺の被災状況

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（港湾空港班）第1陣の活動状況（H23.3.12～3.19）

- ・ 派遣人員：港湾空港班（3名×1班=3名）（宮崎課長補佐、小松係長、岡田係長） 合計 1班、3名
- ・ 調査場所：久慈港 半崎地区及び諏訪下地区の港湾施設【岩手県久慈市】
- ・ 調査概要：
 - ・ 係留施設（岸壁、物揚場）の沈下、移動、クラック等の発生状況や被災範囲の把握、係船用構造物（防舷材、係船柱等）の損傷状況を調査。
 - 棧橋構造の係留施設について、渡橋版の損壊が多く見られた。
 - ・ 外郭施設（護岸、防波堤）の沈下、移動、クラック等の発生状況や被災範囲を調査。
 - 護岸波返し部の倒壊、被覆ブロックの散乱が見られた。



岸壁法線、車止め、係船柱、防舷材損傷無し



コンクリート版の沈下・剥離、流出が発生



棧橋構造の渡橋版の損壊、飛散状況



棧橋構造の渡橋版の流出、護岸の移動が発生



被覆ブロックの散乱、基礎材の崩れが発生



護岸波返し部の倒壊、歩道の損壊

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（機械班）第1～2陣の活動状況（H23.3.12～3.22）

- ・派遣人員：機械班（2名×1班×2陣=4名）（第1陣：岩崎課長、懸谷係長、第2陣：三上係長、佐々木係長）
協力業者（第1陣：11社37名、第2陣：10社34名） 合計 75名

※ 災害対策用機械の操作員・運転手は、四国地方整備局が契約している四国内の地元建設業者にご協力頂いております。

- ・活動場所：宮城県名取市・岩沼市、福島県新地町
- ・活動概要：排水ポンプ車（排水能力30m³/分）による浸水排除（4箇所：5台）
照明車による夜間照明（延べ5箇所：5台）
対策本部車等による支援（2箇所：2台）

効果

津波で貯まった水の水深を
最大30cm程度低下(3/23現在稼働中)



おしわけ 岩沼市 押分箇所
出動に向け災害対策機械が待機



おしわけ 岩沼市 押分箇所
前線基地として災害対策本部車を活用



新地町役場
照明車により避難所での安心確保



ゆりあげ 名取市 関上箇所



こづかはら 名取市 小塚原箇所



こづかはら 名取市 小塚原箇所

排水ポンプ車により津波で貯まった水を川や海に排水

四国地方整備局におけるTEC-FORCEの活動状況

○ TEC-FORCE（ロジ班）第1陣の活動状況（H23.3.12～3.18）

- ◇派遣人員：ロジ班（武内補佐、井手係長、川人運転手、大西運転手）（4名）
河川・砂防班、道路班、機械・電機班、港湾空港班、運転手（27名）
- ◇災害対策用機械オペレータ外（37名）
- ◇ロジ班の役割 総勢68名の各種サポート

総勢 68名で活動

（支援対策本部等との連絡調整、勤務時間・健康管理、食料調達、宿泊所手配など。）

- ・走行距離：高松～現地 往復3,000km以上（約四国2.5周に相当）＜マイクロバス3台、災害対策用機械13台＞
- ・所要時間：仙台入りに2日間（原発の影響による足止め、高速道路の通行規制等）
- ・給油制限：ガソリンスタンドは長蛇の列。1台10ℓまで等の給油制限、燃料の枯渇の危機に対して、
総合対策本部（四国）と連携して給油可能スタンドを探して調達を行った。
- ・情報伝達手段：通話制限により携帯電話が使えない状況もあり、国土交通省マイクロ回線網も駆使し連絡調整を実施。



現地までの行程

- 3月11日 発災
- 3月12日 15:00高松発
- 3月14日 午前1:00 福島県猪苗代着
- 3月14日 12:00郡山事務所
→16:00東北地方整備局

2日間かけて現地に!!



阿賀野川SAで緊急車両証の交付



出発前の班長会議



郡山事務所での現地状況説明



東北地方整備局での現地状況説明



TEC-FORCE出発



災害対策用機械の車列



猪苗代の積雪



郡山市内のガソリンスタンド



宮城県亶理町の災害対策本部の様子（TEC-FORCE 市町村派遣隊亶理町班より）



宮城県亶理町の被災状況（TEC-FORCE 市町村派遣隊亶理町班より）



あぶくまがわ
阿武隈川河口部現地調査の様子（TEC-FORCE 市町村派遣隊わたり巨理町班より）



「緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）出発式」の状況（3月24日）

